

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画の名称

さっぽろ発☆ブランドに磨きをかける食・健康・新産業人材雇用創出プロジェクト

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

札幌市

## 3 地域再生計画の区域

札幌市の全域

## 4 地域再生計画の目標

### 4-1 地域の現状

札幌市は、石狩平野の南西部に位置し、面積 1,121.12 k㎡、人口約 189 万 5 千人（平成 20 年 1 月）で、北海道の人口の 3 分の 1 を占めている。

産業構造は、卸売・小売業、サービス業、飲食店、宿泊業など第三次産業に強く傾斜していること、建設業の割合が高く製造業の集積が少ないなどの特徴があり、域際収支は移輸入超過の状況で（表 1、2、3）、総じて企業体力も弱い。

表 1 産業 3 部門別事業所数・従業者数

区 分	事業所数	構成比(%)	従業者数	構成比(%)
全産業	74,191	100.0	840,151	100.0
第一次産業	63	0.1	937	0.1
第二次産業	8,792	11.8	109,235	13.0
第三次産業	65,336	88.1	729,979	86.9

〈出典〉総務省統計局「平成 18 年事業所・企業統計調査確報」

表 2 主な産業別従業者割合

産 業	割合	順	産 業	割合	順
建設業	8.3	①	飲食店、宿泊業	9.5	④
製造業	4.7	⑭	医療、福祉	10.7	④
情報通信業	3.8	⑥	教育、学習支援業	4.7	⑪
運輸業	4.9	⑫	サービス業	17.7	⑦
卸売・小売業	24.5	③	※順位は 16 大都市における本市の順位		

〈出典〉総務省統計局「平成 18 年事業所・企業統計調査確報」

表 3 北海道の域際収支

（平成 16 年度）

移輸入額

7 兆 2,512 億円

移輸出額

5 兆 2,957 億円

移輸入超過

1 兆 9,555 億円

〈出典〉

平成 16 年度道民経済計算年報

これまで本市は、人口増加や公共事業に支えられて経済発展を遂げてきたが、人口増加率は次第に鈍化してきており、また、北海道開発事業費も大幅に減少するなど、公共事業に頼らない足腰の強い産業構造への脱却が求められている。

このため、内需消費型の産業構造を外需型産業へと転換すべく、IT（情報技術）産業やバイオ産業のほか、観光など集客交流産業の振興やベンチャー支援にも力を入れて、一定の成果は上げているものの、全国的な景気回復に比べてその足取りは重く、とりわけ雇用情勢は低調で地域格差は縮まらない状況にある（表 4）。

表4 有効求人倍率(常用)の推移 (新規学卒を除き、常用的パートタイムを含む原数値。)

区分	19年										20年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
札幌圏	0.44	0.44	0.45	0.47	0.49	0.49	0.50	0.49	0.44	0.49	0.52	0.52	
全道	0.47	0.48	0.49	0.50	0.52	0.55	0.55	0.52	0.49	0.51	0.53	0.52	
全国	0.95	0.92	0.92	0.95	0.98	1.01	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.96	

〈出所〉北海道労働局

## 4-2 地域の課題と今後の取組み

こうした地域の現状を踏まえ、札幌市は平成19年度に「第2次札幌新まちづくり計画」を策定したところであり、本市の計画と連動させながら、この地域再生計画においては、以下の5つの重点項目について取組みを進めていくこととする。

### (1) 「食のまち」札幌の推進（食関連産業分野）

北海道の食は「安全、安心でおいしい」と評価が高く、健康志向の高まりや輸入食品の安全性に対する不安などから、今後、食関連のビジネスチャンスはますます拡大すると見込まれる。

札幌市は、北海道産品の一大集積地・消費地であり、本市の食関連産業は基幹産業の一つになっているが、高い競争力をもつ外需型産業へと成長させていくためには、さらなる高付加価値化、訴求力を高めるブランド強化が課題となっている。

また、近年は、台湾や中国などの東アジア圏で北海道産食材への需要が高まり、有望な市場となっていることから、販路拡大に向けた積極的な取組みが求められている。

こうしたことから、食のブランド力にさらに磨きをかけ、「食のまち」札幌を国内外に発信し、食関連産業の振興を図っていく。

### (2) 健康・福祉サービスの充実（健康・福祉サービス産業分野）

札幌圏は、全国の大都市圏の中で最も高齢化のスピードが速い地域と見込まれており（表5）、特に札幌市は、医療機関や福祉施設が充実していることから、第一線を退いた高齢者が北海道内各地から流入してくるといった地域特性がある。

急速に進む高齢化に備え、高齢者が安心して健やかに地域生活を送れるようにさまざまなニーズに対応したサービスの充実が課題となっている。

このため介護予防サービスの充実や、人間性を指向する新しい認知症ケアなど、時代にあった健康・福祉サービスの充実に努めていく。

表5 大都市圏の高齢者人口の伸率比較

札幌圏	東京圏	名古屋圏	関西圏	北九州・福岡圏
2.5倍	2.2倍	1.9倍	1.9倍	1.7倍

※1995年を1.0とした場合の2025年の伸率を表す。

〈出典〉財団法人統計情報研究開発センター「市区町村別将来推計人口(1997年)」

### (3) 札幌らしい新産業の育成と拡大（新産業分野）

札幌市では、1980年代以降、情報関連産業の振興に力を入れており、「サッポロバレー」と呼ばれるまでに情報関連企業の集積が進んでいる。近年では、こうしたIT

技術者と企業群の集積を背景に、デジタル家電や自動車機器などのものづくり分野で、組込みソフトウェアを開発する需要が急速に拡大している。

また、地元の短編映画祭を契機として、映像コンテンツが多数集積され、コンテンツマーケットの構築が急がれるほか、映画ロケーションなどの映像産業分野で新しいビジネスチャンスが拡大している。

いずれも大きな成長が期待される産業分野であり、急速な事業の拡大に人材育成やマーケットの創出が追いついていないなどの課題もあるが、北海道大学などとの産学官の協働で推進しているバイオ産業も含め、札幌の優位性を生かした新産業として、育成と拡大を図っていく。

#### (4) 集客交流資源の創出と魅力の発信（集客交流産業分野）

さっぽろ雪まつりやYOSAKOIソーラン祭りをはじめとする集客交流産業は、本市の重要な基幹産業の一つである。平成18年度の観光客数は、初めて1400万人を突破し過去最高を記録したほか、海外から新千歳空港への航空路線の増加などにより外国人観光客も増加を続けている。

今後は、ホスピタリティの向上など受入体制を充実させるとともに、札幌が持つ集客交流資源を発掘、創造、活用し、これらを効果的にPRすることで、集客交流を一層促進していくことが課題となっている。

このため、札幌の魅力である食や自然、文化芸術などのハード・ソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用し、札幌独自の魅力づくりや観光資源の発掘を行うとともに、特に外国人や国内の個人客に対応したホスピタリティの向上や観光情報提供の充実、集客・経済効果の高いコンベンション誘致などに積極的に取り組んでいく。

また、道内各市町村とも連携して、国内外へ向けた食や観光の情報発信や特産品の販売を行うための拠点を整備するなど、本市の都市機能を活用して、北海道全体の魅力向上や活性化をめざしていく。

#### (5) 新事業へのチャレンジ支援（ものづくり産業分野）

本市は、都市規模に比べて工業の集積度が低く、脆弱な産業構造の一因ともなっていることから、ものづくり産業の成長、発展が望まれている。

現在、北海道においては、自動車関連産業の集積が図られており、ものづくり産業におけるIT化が進展するなかで、これまで本市が積極的に振興してきた情報関連産業の技術が、この分野で積極的に活用され始めており、市内には基板、電子装置、通信制御機器など情報系のものづくりをハード・ソフト両面で展開する企業も現れている。

今後、自動車産業のみならず、広くものづくり産業の分野で競争力のある企業を育成していくためには、体質強化や生産性の向上、販売力強化はもとより、製品の高付加価値化を促進し、売れる製品づくりを進めていくことが大きな課題となる。

こうしたことから、地元企業の技術力や開発力の強化を図るため、新製品の開発や既製品の改良、企業間ネットワークの構築、人材の育成など、新たな事業にチャレンジする企業への支援を行っていく。

### 4-3 地域再生計画の数値目標

前述の取組みを進めるに当たっては、「食のまち札幌の推進」、「健康・福祉サービスの充実」、「札幌らしい新産業の育成と拡大」の3つの重点項目については、厚生労働省の「地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）」を活用するとともに、併せて札幌市独自の産業振興施策に取り組むことにより、産業人材の育成を図り、地域経済の活性化と大きな雇用機会の創出を目指すものである。

#### 【数値目標】

産業人材の育成事業等による就職者数 3,013人

このうち地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）による就職者数 1,013人、  
本市独自の事業実施による就職者数 2,000人。

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

札幌市が平成19年度に策定した「第2次札幌新まちづくり計画」の中から、次に掲げる5つの施策を重点項目として実施する。このうち(1)~(3)については、地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）を活用し、重点的な人材育成等を実施して雇用機会の創出を図る。

#### (1) 「食のまち」札幌の推進（食関連産業分野）

北海道の食が「安全、安心でおいしい」という強みを生かし、さらなるブランド強化や国内外への販路拡大の推進、人材の育成事業などを実施して、関連産業の振興と雇用の創出に努めていく。

#### (2) 健康・福祉サービスの充実（健康・福祉サービス産業分野）

札幌圏は、他の大都市圏に比べて高齢化が急速に進むことが見込まれており、今後、介護予防を重視したサービス提供、新しい認知症ケアへの対応など、サービスの複雑化・高度化に対応できる質の高い人材の育成事業を実施して、関連産業の振興と雇用の創出に努めていく。

#### (3) 札幌らしい新産業の育成と拡大（新産業分野）

IT、コンテンツ、バイオなどの新産業分野は、地域経済の活性化や新規雇用の創出が期待できることから、関連企業の育成支援と誘致のほか、積極的な人材の育成事業を実施して、関連産業の振興と雇用の創出に努めていく。

#### (4) 集客交流資源の創出と魅力の発信（集客交流産業分野）

食や自然、文化芸術などのハード・ソフトの資産を積極的に活用し、観光客の集客増加を目指すとともに、従業員のホスピタリティの向上や観光情報提供の充実など、人材の育成と受入環境の整備により、関連産業の振興と雇用の創出に努めていく。

#### (5) 新事業へのチャレンジ支援（ものづくり産業分野）

これまで本市が積極的に振興してきた情報関連産業の技術が、自動車関連産業などの電子装置や通信制御機器などで積極的に活用され始めている。地元企業の技術力や開発力を強化し、製品の高付加価値化や差別化を図るとともに、企業間ネットワークの構築や人材の育成事業を行って、関連産業の振興と雇用の創出に努めていく。

## 5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 「地域雇用創造推進事業【B0902】」を活用した事業

#### ■事業実施主体

「さっぽろ雇用創出推進協議会」

#### ■構成員

- ①札幌商工会議所 ②北海道中小企業家同友会札幌支部 ③財団法人さっぽろ産業振興財団 ④財団法人さっぽろ健康スポーツ財団 ⑤北海道デイサービスセンター協議会  
⑥<有識者>北海道武蔵女子短期大学教授 ⑦札幌市

#### ■実施する事業内容

### I 雇用拡大メニュー

#### A 企業経営強化事業

##### (1) 企業経営強化・相談事業

安定した企業経営や魅力ある職場づくりによって、雇用機会の増加につなげるため、労務管理、人材育成などに関するセミナーの開催、中小企業診断士、社会保険労務士等の専門家による相談事業を実施する。

##### (2) 食の安全安心セミナー（HACCP専門コース）

食の安全安心の推進において、効果的な衛生管理手法であるHACCPシステム構築の講義やワークショップ、札幌市食品衛生管理認定制度（札幌版HACCP）の講座などを開催する。それにより人材を育成し、関連事業所を拡充することで雇用機会の増加に結びつける。

##### (3) 健康・福祉サービス事業所講演会

健康・福祉サービス事業所の経営者層を対象に、福祉・介護現場の新しい取り組みや、魅力ある職場づくり、人材の活用・育成に関する講演会を開催し、雇用機会の増加に結びつける。

### II 人材育成メニュー

#### A 「食のまち・さっぽろ」推進人材育成

##### (1) 食のブランド開発・安全安心を担う人材育成事業

- ① 食のブランドづくりを担う人材の育成を目的として、地域求職者を対象に、ブランド戦略の基礎知識、食品の付加価値を高めるデザイン効果などのセミナーに加え、さっぽろ地域ブランド「さっぽろスイーツ」やヒット商品などのケーススタディを実施し、食品製造業、販売業などへの就職に結びつける。
- ② 商品企画開発、パッケージデザイン、店舗設計、販売員教育など、総合的な視点から「売れる商品」づくりを提案できる中核的人材の育成を目的として、デザインの初歩的知識を有する地域求職者や在職者を対象に、第一線で活躍する講師によるセミナーを開催し、食品関連業界への就職に結びつける。

- ③ 高い衛生管理の知識を持つ従業員・販売員の育成を目的に、滅菌処理などの衛生管理実験、食品工場見学や先進事例研究を実施し、実践的な人材育成を行って、食品製造、卸売・小売、飲食店等への就職に結びつける。
  - ③ 食生活における循環型社会の実現に向け、フードリサイクルの実践と普及のリーダーとして活躍できる人材の育成を目的に、フードリサイクル基礎知識から、食物残渣の堆肥化技術やBDF（バイオディーゼル）資源化技術等のリサイクル技術講座やリサイクル施設での体験学習など、実践的な講座を展開し、食品製造業、飲食業、宿泊業等への就職に結びつける。
- (2) マーケティング、販売促進を担う人材育成事業
- ① 製造業から販売業、宿泊業、飲食店など食関連産業全般への就職を目指し、関連企業から講師を招いた商品評価や課題解決の演習やグループワーク、WEBマーケティングに関するセミナーにより、マーケティングや販路拡大を担える実践人材の育成を行い、就職に結びつける。
  - ② 会計基礎知識のある地域求職者等を対象に、企業経営に必須となる会計情報を、電子会計により正確に分析・把握し、経営に活かせる実務人材の育成を行い、就職に結びつける。
- (3) 流通業界高度化、東アジア圏への販路拡大人材育成事業
- ① 食品流通システムや履歴管理の基礎講座をはじめ、生鮮食料品の流通拠点である札幌市中央卸売市場のせり体験研修、流通業界で活躍する事業者やバイヤー等による講義など、実践型研修により卸売や小売など食品流通業界を担う人材を育成し、就職に結びつける。
  - ② 食品業界で成功している方を講師に招き、地域求職者等に有用な成功事例や苦労話などの講演会を開催し、業界への理解を深め、流通業界における販路拡大について学ぶ。上記①のセミナーとセットで受講することで、より多くの就職につなげる。
  - ③ 貿易実務の基礎や東アジア圏の食品市場に関する講義や、市内で開催される海外商談会の見学等の実体験を通じ、地域求職者や創業希望者等の貿易感覚を磨き、食品製造業や流通業界への雇用機会の増加につなげる。また、地域求職者と関連企業によるビジネス交流会を開催し、就職に結びつける。
  - ④ 食品関連企業在職者を対象に、東アジア圏の食品市場、国際商慣習、貿易実務、輸出向け商品開発、知的財産権法などに関するセミナーを実施し、中核的人材のレベルアップを図る。
- (4) 食の創業塾（すすきのオーナー養成）
- 札幌の代名詞の一つで、かつては四千軒を超える店舗がひしめき合った「すすきの」も、飲食店経営者の高齢化による廃業や創業の伸び悩みなどの影響で空き店舗が目立ち、庶民の癒しの場・活力の源としての存在感が薄れつつある。そこで、飲食店オーナーを目指す創業希望者等を対象に、飲食店での2週間の派遣実習（オーナー体験）や創業に関するセミナーの開催、中小企業診断士等による定期的な相談

など、独立創業まで継続的に支援を行う。

## B さっぽろ健康・福祉サービス人材育成

### (1) 介護予防サービス人材育成事業

介護予防に関して、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能向上の知識・技能の習得を目的とした「介護予防サービス研修」を実施して、介護から介護予防にいたる質の高いサービスを提供できる人材を育成して、就職に結びつける。

### (2) 認知症ケア人材育成事業

認知症ケア先進国であるスウェーデンの取組みを教材として、「緩和ケアの理念」や「タクティールケア(※)の理論と実践」に関する研修を実施して、認知症高齢者の尊厳ある暮らしを目指す新しい認知症ケアを担う人材を育成して、介護・福祉サービス分野への就職に結びつける。

(※)ラテン語で「触れる＝タッチ」という意味。手足あるいは全身に対し痛点を刺激することなく手で触れ、興奮状態や不安感、痛みなどを緩和するという技法で、スウェーデンにおいて実践・理論付けされたもの。ケアを行う側と受ける側とのコミュニケーションや、身体を通しての認知力も促進する。そのためスウェーデンでは、緩和ケアにおいてひとつの補完的な手法として広く使われている他、重度の障害者に対しても使われている。

## C さっぽろ新産業人材育成

### (1) 組込み系 I T 人材育成事業

道央地区への進出が著しい自動車産業を中心に組込み技術者に対するニーズが高まる中、I T 知識を有する地域求職者や転職希望技術者等を対象に、情報家電や自動車に組み込まれるソフトウェアの開発、組込み技術に関する講座や実機等を活用した技術研修を行い、I T 技術と経験をものづくり産業に活かせる即戦力となる人材を育成し就職に結びつける。

### (2) 映像コンテンツ人材育成事業

ロケーションサポートや映像制作を担う人材を育成するため、NPO法人北海道映像産業振興連盟加盟企業へ企業派遣研修を実施し、業界知識や技術の習得を行い、即戦力人材を育成するとともに、映像関連企業との就職相談会を開催し、就職に結びつける。

## III 就職促進メニュー

### (1) 合同企業説明会の開催

本事業を利用した求職者や一般の求職者等と重点産業分野に該当する企業を中心とした、合同企業説明会を実施することにより、求人・求職のマッチングを通じた就業機会の拡大と充実を行い、雇用拡大を図る。また、健康・福祉サービス事業所に特化した合同説明会も別途開催する。

### (2) ホームページによる就職情報の発信

地域雇用創造推進事業で実施予定の各種事業の周知のほか、研修申し込み、就職者・

参加企業の声など効果的な事業PR、広報手段として、新たにホームページの開設・管理を行い、地域における雇用促進を図る。

## 5-3-2 札幌市が独自で展開する事業

### (1) 食関連産業分野

#### ① アジア圏等経済交流促進事業

情報関連産業や食品関連産業、ファッション関連産業などが、国際競争力を高めながらアジア圏諸国との産業ネットワークの構築を促進するため、相互交流や高度技術を有する人材の活用を通して販路拡大や調達コスト削減の支援を進める。

#### ② 国内販路拡大支援事業

魅力ある商品や独自の商品企画力を持つ市内の中小卸売業者の活性化を図るため、首都圏で開催される見本市出展など道外への販路拡大と、市内及び周辺市町村の商店街との取引促進のための商談会など連携強化を支援していく。

#### ③ 都心部における北海道の魅力発信事業

北海道全体の魅力向上や活性化を図るため、道内各市町村と連携し、国内外へ向けた食や観光資源などの情報発信や特産品の販売を行うための拠点を都心部に整備する。

#### ④ 「食のまち」札幌の推進

さっぽろスイーツを始めとする「札幌の食」のブランド化を図るため、イベントの開催や食品見本市への出展、食に関する情報発信拠点の整備など、重点的、複合的に食産業の振興を支援し「札幌の食」を国内外に発信していく。

#### ⑤ 魅力ある食づくり推進事業

果実などを主体とした地元食材の見本市（スイーツマルシェ）の開催や、魅力ある農産加工品の開発、ブルーベリーなどの小果樹の試験栽培を行うなど、地元農産物の需要喚起と販路拡大を図る。

#### ⑥ 札幌ブランド構築・推進事業

デザインを活用し産学官の連携による「札幌スタイル」という新しい価値の創造を目指し、デザインコンペ（競技会）や認証事業、デザインセミナーなどを行い、商品開発力の向上と販売力の強化を図る。

#### ⑦ 新たな秋のイベント事業

大型イベントの少ない秋に集客増を図るため、大通公園において「秋の豊穰祭」をテーマとして、北海道の食を中心に地産地消、食育などをコンセプトとした新たな集客イベントを実施していく。

#### ⑧ 「顔の見える農業」推進事業

地産地消を基本とした地元農産物「さっぽろとれたてっこ」の生産、流通、消費の拡大の推進や、独自の認証制度に基づく化学農薬の使用抑制を進め、食の安全・安心の確保や食育を推進するとともに、フードマイレージの減少に寄与していく。

#### ⑨ 定山溪地区生ごみ堆肥化推進事業

定山溪地区でのホテルなどから排出される生ごみの堆肥化からこれを使って生産した農産物の活用に至る地域内循環と地域振興に向けた「バイオマスタウン構想」



の策定や、生ごみ堆肥活用拡大のための調査を行う。

⑩ 家庭用廃食油資源化促進事業

家庭から排出される使用済み食用油（廃食油）のバイオディーゼル燃料への資源化促進に向けて回収拠点を増やすため、回収ボックスを設置するスーパーマーケットやレストランなどへの支援を行う。

(2) 健康・福祉サービス産業分野

① 地域包括支援センター（介護・健康何でも相談センター）運営事業

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活をできる限り続けられるよう、介護予防支援の拠点となる地域包括支援センターを増設する。

② 介護予防事業の充実

高齢者が要介護状態へ移行するのを防ぐために、介護予防センターが実施する「すこやか倶楽部(閉じこもり予防教室)」、「転倒・骨折予防教室」などの各種の介護予防教室を一層推進する。

③ 認知症サポーター養成事業

認知症に対する正しい知識を普及し理解を深め、地域において認知症の人とその家族を支援するため、認知症の支援者(認知症サポーター)養成講座を開催する。

④ 高齢者ひとくち講座・口腔ケア推進事業

高齢者の介護予防、閉じこもり防止の観点から、「高齢者ひとくち講座」を実施する。また、在宅療養高齢者に対しては歯科医師による訪問審査を実施、一般高齢者に対しては地域ケアネットワークを構築し、口腔状態の維持改善を図る。

(3) 新産業分野

① 首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業

首都圏での販路拡大を目指す地元企業の支援のため、首都圏企業とのネットワークの構築を進めながら、マッチング、コーディネートやプレゼンテーションの場の提供をしたり、東京事務所をビジネス拠点として開放する。

② 企業連携構築事業

IT・バイオ分野で企業集積が進んでいる関東や関西地域と札幌のベンチャー企業・研究者との事業連携、技術提携及び共同研究を促進させるため、情報交換や商談などのマッチングを行うイベントを開催していく。

③ さっぽろコンテンツマーケット創出事業

札幌国際短編映画祭に応募されたショートフィルム(短編映画)などの資源(コンテンツ)を産業につなげるために、年間を通じて取引が行える「さっぽろコンテンツマーケット」システムを構築する。

④ さっぽろフィルムコミッション強化事業

市内映像産業の振興を目指し、さっぽろフィルムコミッションが行っているロケーションサービスを充実させ、ロケへのニーズに対応するとともに、ロケーション誘致の拡大や地場映像事業者の人材育成を支援していく。

⑤ 高度情報通信人材育成・活用事業

札幌市のIT関連産業の売上げ拡大を図るため、より高度で付加価値の高い業務を

受注できるような人材を育成し、企業へ積極的に情報提供することにより、IT産業の活性化を図る。

⑥ 新産業育成推進事業

市内の中小企業と大学や異業種などとの連携を促進し、新産業の事業化を期待できる①環境・エネルギー②福祉・医療③情報・通信④バイオテクノロジー（ライフサイエンス）関連分野の取組みを支援していく。

⑦ 北海道大学連携型起業家施設運営事業

大学の研究成果をベンチャーの創業につなげるため、北海道大学北キャンパスに開設される「北海道大学連携型起業家育成施設」の入居者に対し、賃料の補助など研究開発から事業化まで一貫した支援を行っていく。

⑧ さっぽろバイオクラスター構想“BIO-S”推進事業

バイオ産業の育成・振興を目指し、北海道の食材や化粧品などを科学的に評価し、高品質化を図る研究開発を、札幌を中心に道内の大学と連携して行う。

⑨ 企業誘致促進事業

地域経済の活性化や新規雇用の創出が期待できるIT・デジタルコンテンツ・バイオ企業を誘致するため、積極的な企業訪問、ダイレクトメールの送付、展示会出展などのほか、新規立地企業に対する補助を行う。

⑩ 雇用創出型ニュービジネス立地促進事業

雇用創出が期待でき、今後も成長が見込まれるビジネス分野であるコールセンターなどの立地促進を図るため、引き続き積極的な誘致活動、新規立地企業への補助を行うほか、既就職者への研修など人材育成に取り組んでいく。

⑪ ベンチャー支援事業

優れたビジネスモデルや大学・研究機関などの成果を事業化につなげるため、創業を目指す起業家や設立後間もないベンチャー企業に対し、経営面での人的支援を充実させるなど、さまざまな支援を行う。

(4) 集客交流産業分野

① さっぽろ雪まつり魅力アップ事業

市民参加・体験型のさとらんど会場の魅力アップを図るため、市民参加のしくみや組織づくりへの支援や子ども向け体験学習事業を実施するほか、駐車場・トイレ増設などおもてなし向上の取組みを行う。

② ライラックまつり魅力アップ事業

ライラックまつりにおいて、大道芸やパフォーマンスなど多彩な札幌文化の楽しみや食の充実を図るほか、中国大連市アカシアまつりとの提携によって相互交流を図り、中国からの観光客誘致につなげていく。

③ 「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担

姉妹都市ミュンヘン市の伝統行事であるクリスマス市を、ホワイトイルミネーションを実施している大通公園で開催し、ミュンヘンの文化を感じる冬の集客交流イベントとして推進していく。

④ 藻岩山魅力アップ事業

老朽化したロープウェイや展望台などの施設について、自然環境に配慮しつつ、バリアフリー化に対応した再整備を行うほか、「藻岩山の日」などのソフト事業をさらに展開することによって、藻岩山の魅力アップを図っていく。

⑤ 定山溪温泉活性化補助

定山溪温泉地域の観光地活性化に向けた自主的なまちづくり活動や、地域の魅力向上、来客受入体制の充実、来客誘致促進などの事業に対して補助を行う。

⑥ 新たな秋のイベント事業【再掲】

大型イベントの少ない秋に集客増を図るため、大通公園において「秋の豊穰祭」をテーマとして、北海道の食を中心に地産地消、食育などをコンセプトとした新たな集客イベントを実施していく。

⑦ 大通公園スケーティング・スクエア事業

かつて札幌の冬の風物詩であったスケートリンクを大通公園西1丁目に設置し、夜間のライトアップにより札幌の冬の新名所とし、市民や観光客に気軽にスケート体験のできる機会を提供する。

⑧ 平岡公園・梅林ライトアップ事業

札幌の新たな観光魅力づくりとして、平岡公園・梅林について梅の開花時期に合わせて梅林の一部をライトアップし、観光資源として定着させていく。

⑨ 北緯43° 花香る北の街づくり事業

地域特性に応じた美しい街並みをつくるため、地域が主体となった花壇づくり（コミュニティガーデン）を推進するほか、市民自ら花苗を育成して植栽する取組みを支援する。

⑩ 観光都市さっぽろ推進事業

集客交流を促進するため、国内外の個人客への対応充実や、まち全体のおもてなしの充実、札幌の魅力発掘や新たな魅力創出の支援や発信、コンベンションの誘致・支援など、まち全体の魅力を高め、来客者の増加を目指す事業を展開する。

⑪ 首都圏シティPR事業

札幌への集客を図るため、首都圏において、広告媒体や集客イベントを活用して、札幌のイメージやブランド・観光の魅力を発信し、観光客やコンベンションなどの誘致を行っていく。

⑫ ターゲット別国内観光プロモーション事業

旅行会社や、首都圏・関西圏の一般市民などの対象（ターゲット）別に、説明会やさっぽろスイーツプロモーション（宣伝）、首都圏での修学旅行誘致、旅行商品開発支援など、特性に合った誘致宣伝活動を実施する。

⑬ 国際観光誘致事業

観光客の増加が見込まれる東アジアやオセアニアなどを対象として、国が実施するビジット・ジャパン・キャンペーンと連携し、イメージ発信や旅行商品開発支援などの誘致宣伝事業を行っていく。

⑭ 北海道洞爺湖サミット開催関連事業

北海道洞爺湖サミット開催に合わせて、札幌市のPRを積極的に行うほか、道民会議などを通じた開催支援やサミット関連プログラムの運営支援を行う。

⑮ 都心部における北海道の魅力発信事業【再掲】

北海道全体の魅力向上や活性化を図るため、道内各市町村と連携し、国内外へ向けた食や観光資源などの情報発信や特産品の販売を行うための拠点を都心部に整備する。

(5) ものづくり産業分野

① ものづくり産業活性化支援事業

市内製造業の競争力を高め、本市経済の活性化を図るため、市内の中小製造業者又は企業グループなどに対し、新製品の開発や既製品の改良に対する支援、企業間ネットワークの構築支援、人材育成に関する事業へ支援する。

② コミュニティ型建設業創出事業

地域や個人のさまざまな課題の解決を図るとともに、建設業が持つ人材・技術・機械などを活用し地域に根ざした新たな事業の展開を進めるため、市民が安心して仕事を頼める仕組みをつくるほか、両者を仲介する事務局の運営を支援する。

(6) 地域重点分野全体に係ること

① 中小企業金融対策資金

市内の中小企業などが事業経営に必要とする資金を円滑に調達することができるよう、融資に必要な原資の金融機関への預託や信用保証協会への損失補償、信用保証料の補給を行う。

② 元気がんばれ資金

市内で長年にわたり事業を行い、地域の発展と雇用の維持・確保に大きく寄与しているが、厳しい経営環境に置かれている小規模事業者などに対し、必要な小口資金を融資することにより、企業経営を安定させ、地域に根ざした企業活動を振興していく。

③ 就業者総合サポート事業

安心して働ける環境をつくるため、様々な世代の再就職支援の強化、仕事の悩み相談窓口の開設やメンタルヘルス専門スタッフの派遣などを行う。

④ 団塊の世代及び女性の起業支援事業

起業を目指す団塊の世代や女性を対象に、起業セミナーの充実や、起業希望者に対する個別アドバイスの実施など、団塊の世代及び女性の起業を支援する。

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 23 年 3 月末まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

- (1) 「さっぽろ雇用創出推進協議会」において、年度ごとに求職者等の就職状況調査、参加事業者からの雇用状況調査等を実施し、取組みに対する評価を行う。
- (2) 本市独自の取組みによる目標達成状況については、年度ごとに把握し評価を行う。

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし